

第1学年 国語科学習指導案

対象 1年5組 男14名、女15名 計29名
指導者 土川 純子

- 1 単元名 ふたりでかんがえよう
教材名 「これはなんでしょう」 (光村図書 国語1年下)

2 単元について

(1) 児童について

本単元にかかわる既習事項について事前調査したところ、次のような結果であった。

質問項目	はい	どちらかといふ	どちらかといふ	いいえ
①友達と話し合ったり、決めたりすることは好きですか。	93%	7%	0%	0%
②よく分かるころやなるほどと思うころでは、うなずきながら聞いていますか。	79%	21%	0%	0%
③相手の話に質問や感想を言っていますか。	20%	70%	10%	0%

調査の結果から、友達と話し合ったり、決めたりすることに対する関心・意欲が高く、「友達の話を反応しながら聞こうとすること」を意識している児童が多いことも分かった。一方、「相手の話に質問や感想を言うこと」に苦手意識が見られた。本単元の学習では、クイズ形式の対話の中で楽しみながら出題・質問・応答のやりとりをし、話す力・聞く力を身に付けていく。クイズ大会では、出題し、答えるというだけではなく、答えを探るための質問を考える力も高めていきたい。

(2) 教材について

本単元にかかわる指導事項は、「話すこと・聞くこと」のオ「互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと」である。

児童は入学してからこれまでに、「おもいだしてはなそう」「なつやすみのことをはなそう」の学習で自分の経験を思い出し、心に残っていることや楽しかったことを話したり、聞いたりすることに取り組んでいる。また、「たからものをおしえよう」の学習では、2人組で話したり、聞いたりし、全体で発表する内容を詳しく付け加えていくといった学習もしている。さらに、「ともだちにきいてみよう」の学習では、2人組で友達にインタビューした内容を全体に知らせるといった学習に広がった。

本教材は、クイズ形式の対話の中で、楽しみながら出題・質問・応答のやりとりをする。この時期の児童は、クイズやなぞなぞが大好きであるため、どの児童も楽しく取り組み、話し合う力を身に付けるのに適した教材である。これは、2学年の「話す事柄の順序を考えて話し、大事なことを落とさないように気を付けながら話を聞く学習」につながっていく。

(3) 指導について

本単元の第一次では、教師が児童にクイズを出すことによって「これはなんでしょうクイズ」に興味をもたせたい。自分の周りの身近なものの中から問題を決めて、クイズを作り、他の学級の児童にクイズを出す学習であることを理解させ、「これは何でしょうクイズ大会をする」という言語活動への興味関心を高めるようにする。さらに、ペアで問題やヒントの内容を話し合う様子や学級で「クイズ大会」を行う様子を教師をモデルとしたビデオで見せ、ゴールの見通しをもたせるとともに、さらなる意欲化を図る。

第二次では、クイズをおもしろくするための問題に対するヒントの種類や出し方を考えさせる。問題にするものが決まっても、その特徴を捉えてヒントを考えることは難しい。そこで、問題のヒントを作るために、そのものの大きさ、長さ、色、形などをどのような言葉で表せばよいかを考えさせる。また、考えたヒントをどのような順番で出すかを話し合うことも、クイズをおもしろくする大切な過程である。ペアで問題やヒントを作り、交流させ、クイズをおもしろくするにはどうしたらよいかを考えさせていきたい。

第三次では、予想される質問を考え、それに対する答えも用意する。発表の練習の時間もしっかり確保し、自信をもってクイズ大会に臨めるようにしたい。そして、クイズ大会では、解答者として問題の答えを特定していくための質問を適切に行う力も付けていきたい。

3 単元目標

- (1) 国語への関心・意欲・態度
問題作りを楽しみ、進んで話し合おうとすることができる。
- (2) 話すこと・聞くこと
友達の考えを集中して聞き、問題を聞いて分からないところを質問したり、適切に答えたりしながら話題に沿って話し合うことができる。(話すこと・聞くことオ)
- (3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
ものの特徴を表す語句を理解することができる。

4 指導と評価の計画

次	時	学習内容	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
小1		友達が一番楽しいと思うことを聞き、それをクラスのみんなに紹介する。 【ともだちに きいてみよう】	紹介するために必要なことを進んで尋ねたり、それに答えたりしようとしている。	「いつ」「どこで」「誰が」「何を」などを使って尋ねている。 分かりやすいように話の順序を考えながら、丁寧な言葉遣いで話している。	聞いたことを伝えるときの話し方を理解している。
一	1	「これは、なんでしょう」ゲームの手順を理解し、学習の見通しをもつ。	単元の学習の流れを知り、問題を作って話したり答えたりすることを楽しもうとしている。	ビデオを見て、出題、質問、応答のやり取りなど、言語活動の見通しをもっている。	問題の出し方の話型や質問のしかたを理解している。
	2	クイズ大会の流れを理解し、問題の出し方や質問の仕方、質問に対する答え方を知る。			
二	3 【本時】	ものの特徴からヒントを考え、二人で話し合っ、ゲームの問題を作る。	問題作りを楽しみ、予想される質問を考え、それに対する答えを進んで話し合おうとしている。	二人で意見を出し合い、特徴を踏まえて、問題のヒントや出す順番を考えている。	ものの特徴を表す言葉を理解している。
	4	質問を予想して、それに対する答えを二人で話し合い、問題を出す練習をする。	問題作りを楽しみ、予想される質問を考え、それに対する答えを進んで話し合おうとしている。	二人で意見を出し合い、特徴を踏まえて、問題のヒントや出す順番を考えている。	ものの特徴を表す言葉を理解している。
三	5	クイズ大会でクイズを出題したり、クイズに答えたりする。	楽しんでゲームに取り組もうとしている。	問題について答えを特定していくための質問をしたり、それに答えたりして、適切にやり取りしている。	質問に答えたり、解答を導き出すための質問を考えたりしている。
小2		「あったらいいな」と思う道具について、話す順序や組み立てを考えながら、発表する。 【あったらいいな こんなもの】	身近なことから想像を広げ、道具について考え、話し合おうとしている。	相手に分かるように話す事柄の順序を考えて話し、大事なことを落とさないように気を付けながら話を聞こうとしている。	事物の形や動きを表す言葉の動きに気付いている。

5 本時の指導

(1) 目標

二人で話し合っ、ものの特徴や出題の順序について考えながら、クイズの問題を作ることができる。

(2) 評価規準

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	問題作りを楽しみ、進んで話し合おうとしている。
話す・聞く能力	二人で意見を出し合い、特徴をよく考えて問題とヒントを出す順番を考えている。
言語についての知識・理解・技能	ものの特徴を表す言葉を理解している。

(3) 展開

段階	学習活動	●指導上の留意点 ◎評価
導入 5分	1 前時の想起	●前時の学習を想起させ、他の学級へのクイズ大会を開くという目的を確認する。
	2 課題の確認	
	ともだちと はなしあって もんだいを つくろう。	
展開 30分	3 課題の解決 (1) 課題解決の見通しをもつ。 (2) ペアで問題を考える。	●教師が作成した問題作成シートを掲示し、「答え」の特徴や順序を考える際のヒントとして活用できるようにする。 ●二人で一枚のワークシートを思考ツールとして使用し、多様な視点から物事を捉え、活発な話し合いができるようにする。 ●問題の内容、ヒントの出し方のどちらも考える時間を確保する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【本時における目指す児童の姿】</p> <p>A) 「ぼうし」の色や形には、どんなものがあると思う？（特徴を考える話し合い）</p> <p>B) いろいろな色があるよね。形も野球の帽子みたいなものも、麦わら帽子みたいなものもあるけど、どう問題にするといいかな。</p> <p>A) 暑いときにかぶるとか、外に出るときにかぶるよね。</p> <p>B) じゃあ、色や形ではなくて、いつかぶるかを出すといいね。 (出題する特徴の選択・判断)</p> <p>A) それを最初のヒントに出したら、みんなに答えが分かっちゃうね。</p> <p>B) 分かりづらいヒントから出していこうか。 (出題する順序の検討)</p> </div>	
	(3) 全体で交流する。	●問題文をイメージさせるために、表現モデルを提示し、交流の際に発表の仕方として参考にすることができるようにする。 ●いくつかクイズの問題を発表させ、どのようなクイズが楽しいか、どのような工夫がもっと必要かを話し合わせる。 ●話し合いで困ったことがあったペアを意図的に取り上げ、問題の作り方や見直しの仕方を共有する。 ●問題の内容やヒントの出し方で気付いたことや考えたことをもとに、再度話し合う時間を設ける。
	(4) ペアで問題の見直しをする。	◎二人で意見を出し合い、特徴をよく考えて問題と出す順番を考えている。 (発言・ワークシート)

<p>終末10分</p>	<p>4 振り返り</p>	<p>●本時の学習を振り返り、感想を発表させ、ペアで話し合うことよさや自分の考えの深まりに気付かせる。</p>
<p>【振り返り 例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ともだちともんだいをかんがえるのが、たのしかったです。 ・ともだちのはっぴょうをきいて、ヒントをだすじゅんばんをかんがえることができました。 ・ともだちとのはなしあいで、ともだちがたくさんヒントをかんがえてくれました。 		
<p>5 次時の確認</p>		<p>●次時では、予想される質問を考えたり、出題の仕方を練習したりすることを確認する。</p>

(4) 板書計画

「これはなんでしょう」クイズたいかいをひらこう

かだい
これは なんでしょう

ともだちと はなしあつて もんだいを つくろう。

こうりゆう
ふたりで

【ヒントボックス】
○大きさ ○いろ ○かたち ○ながさ
○おと ○てぎわり ○ばしょ

二つにする

【ヒントのじゅんばん】
○どんなじゅんばんで出すといいか。
○どう出したらおもしろくなるか。

みんな
そとにある

てつぼう
たいいくでつかう。
にぎってつかう。

ふりかえり
ふんぎょうにつかう。

こくばん
みどりいろ。
ある。

二人ではなしあう力
じゅんじよをかんがえる力